

共同生活援助における事故発生時対応マニュアル

一般社団法人 Wanna be

Wanna be 那加

目次

1, はじめに

本マニュアルの目的と範囲

事故の定義と報告方法

2, 事故発生時の対応

利用者の安全確保

スタッフの連絡と報告

3, 事故の記録と調査

事故の詳細な記録

事故原因の調査と改善策

4, 利用者と家族への情報提供

利用者と家族への説明と同意

事故の報告と対応の共有

はじめに

このマニュアルは、グループホームで働くスタッフが事故発生時に適切な対応を行うためのガイドラインを提供します。事故の定義、報告方法、利用者の安全確保などについて詳しく説明します。

事故発生時の対応

利用者の安全確保:

事故発生時は、まず利用者の安全を最優先に考えます。
必要な応急処置を行い、救急車を呼ぶなど適切な対応を取ります。

スタッフの連絡と報告:

事故を目撃したスタッフは、速やかに上司や管理者に連絡します。
事故の詳細を正確に報告し、適切な対応を共有します。

事故の記録と調査

事故の詳細な記録:

事故の発生日時、場所、利用者の状態などを詳細に記録します。
記録は後日の調査や報告に役立ちます。

事故原因の調査と改善策:

事故の原因を徹底的に調査し、再発防止策を検討します。
スタッフ間で情報共有を行い、改善点を特定します。

利用者と家族への情報提供

利用者と家族への説明と同意:

利用者と家族に対して事故の詳細と対応策について説明します。
利用者と家族の同意を得てから、適切な対応を行います。

事故の報告と対応の共有:

事故の報告は透明性を保ち、利用者と家族に共有します。
対応策や改善点も共有し、信頼関係を築きます。

令和5年 8月15日 作成
令和7年 1月 改訂